

安全データシート（SDS）

作成日：2021年11月12日

改定日：2025年 6月20日

1. 化学品及び会社情報

製 品 名	ターゲン FA-CEM
供給者の会社名称	株式会社ジイ・アンド・テイ商会
住 所	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 2 3 番地
電 話 番 号	0 4 5 - 6 8 1 - 3 3 8 8
F A X 番 号	0 4 5 - 6 6 1 - 1 6 7 0
推 奨 用 途	生活廃棄物、産業廃棄物等の複合臭用消臭剤
使 用 上 の 制 限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐ事

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健 康 有 害 性：生殖毒性

区分 1 A

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分 2（肝臓）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注 意 喚 起 語：危険

危 険 有 害 性 情 報：生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓）の障害のおそれ

注 意 書 き：

【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡等を着用すること。

【応急処置】 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗浄を続けること。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物／容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名（又は一般名）：

成分名	含有量	C A S No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
エタノール	1. 0%	6 4 - 1 7 - 5	2 - 2 0 2
水	9 0 %以上	7 7 3 2 - 1 8 - 5	—
その他	非公開	—	—

4. 応急措置

吸 入 し た 場 合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分の悪い状態が続く場合、医師の診察、手当を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに全ての汚染された衣類を脱いで取り除き、多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激があれば、医師の診断を受けること。

眼に入 っ た 場 合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗浄を続けること。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。

飲 み 込 ん だ 場 合：無理に吐かせないで、口の中を水ですすぐだけにすること。
気分の悪い状態が続く場合には医師の診断、手当をうけること。

5. 火災時の措置

適 切 な 消 火 剤：水分が 90%以上なので基本的には引火しない。周辺火災の場合には全ての消火剤が使用可能。

使ってはならない消火剤：無し

特 有 の 消 火 方 法：周辺火災の場合、可能であれば容器を安全場所な場所に移す。
容器を移動できない場合には、延焼のおそれのないように、水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却を行う。
消火作業は風上から行い、必要に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：

直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：土砂、土のう等で周囲への拡散を防止する。漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

少量の場合は乾燥土、砂等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。多量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。回収したものは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技 術 的 対 策：水を 90%以上含有しているので、引火はしにくい。

吸入の恐れがある場合には適切な保護具を着用する。

粘膜又は衣類に触れたり、目に入らないようにする。

局所排気・全体排気：揮発性が低いので排気の必要性は低いですが、排気する場合には防爆タイプの局所排気装置を用いる。

安全取扱い注意事項：取扱いは換気のよい場所で行う。容器は乱暴な取扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。

接 触 回 避：「10. 安定性及び反応性」を参照。

保 管

安全な保管条件：容器は密閉して、直射日光を避け、常温常湿下で保管すること。

安全な容器包装材料：樹脂製容器(ポリ容器等)

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：TLV-STEL 1000ppm (ACGIH (2013年)：エタノール)

設備対策：防爆の設備・換気・照明機器を使用すること。

適切な排気換気装置を使用すること。

保 護 具：呼吸器の保護具

保護マスク

手の保護具

保護手袋

目の保護具

保護眼鏡、ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

長靴、前掛け、長袖作業着

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 5. 5 ± 0. 5
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に任意の割合で混合
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1. 00 ± 0. 10 (20℃)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反 応 性	: 情報なし
化 学 的 安 定 性	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避 け る べ き 条 件	: 直射日光、高温多湿な場所を避ける。
混 触 危 険 物 質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。

11. 有害性情報

《この製品に対する情報が少ないので、成分中のエタノールを記載いたします》
《エタノール》

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2 B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない

生殖毒性	区分 1 A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓）、区分 2（中枢神経系）
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

《この製品に対する情報が少ないので、成分中のエタノールを記載いたします》
《エタノール》

水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

13. 廃棄上の注意

- 残 余 廃 棄 物：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
- 汚染容器及び包装：容器は洗浄し、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国 連 番 号：非該当

国内規制

陸上規制情報：関連法規に従う
海上規制情報：船舶安全法に従う
航空規制情報：航空法に従う

15. 適用法令

安 全 衛 生 法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（エタノール）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（エタノール）
船 舶 安 全 法：引火性液体類（エタノール）
航 空 法：引火性液体（エタノール）

16. その他の情報

1. 本データシートは、標記の製品の一般的取扱いに関して、弊社が現時点で入手できる資料・情報・データ等を取りまとめたものであり、全ての資料を網羅しているわけではありませんので、その取扱いには十分注意して下さい。
2. 新たな情報を入手した場合には、本データシートを訂正又は追加する場合があります。
3. 標記の製品に、他製品を混合する場合及び特殊な条件下での使用に関しては、使用者において安全を確認して下さい。
4. 本データシートの数値は保証値ではありません。
5. 本データシートは JIS Z 7253：2019 に準じて作成しています。